

# J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 10月号

## 1. 生産者の努力詰まった梨「二十世紀」を皇室に献上。選果・引渡式

J A 鳥取西部は9月1日、大山町で、天皇・皇后両陛下、上皇・上皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下へ献上する梨の選果・引渡式を開いた。

同果実部が梨を献上するのは、13年ぶり。400玉の地元特産の梨「二十世紀」を光センサー式選果機などで測定し、糖度10.5以上、3L以上の赤秀を120玉に一次選果した。そこからJ A 役員や町長らが厳選した84玉を包装紙で丁寧に包み、キャップをかぶせて箱に詰めた。



## 2. 地元の小学生が梨「二十世紀」収穫体験

大山町立中山小学校の児童は9月3日、総合的な学習の一環で大山梨選果場見学と地元特産の梨「二十世紀」の収穫体験に挑戦した。

児童らは、選果場で収穫された梨がどのように選果され箱詰めされるのかを見学したのち、梨園で6月初旬に児童らが袋かけをした梨「二十世紀」の収穫体験を行った。



## 3. ピーマン高品質3万箱出荷目指す。現地講習会

J A 鳥取西部ピーマン部会は9月3日、県園芸試験場日南試験地で現地講習会を開いた。

各品種の特性などを学び、今後の栽培管理や病虫害防除の徹底やピーマンの色や大きさ、形状など出荷規格を確認し、高品質3万箱出荷を目指すことを申し合わせた。



#### 4. 青壮年部が地域に貢献。草刈りボランティア

J A鳥取西部青壮年部は9月25日、米子市の国道180号線沿いで、除草作業ボランティアを行った。

参加者は草刈り機などを持ち寄り、道路沿い約1キロメートルにわたって生い茂った草などを刈り取った。同J A青壮年部では地域農業や青壮年部の活動や取り組みを広く理解してもらうため、地域貢献活動などに取り組んでいる。



以上